

伊深 まちづくり協議会 だより

第 24 号

2015 (H27) 年 2 月 1 日発行

伊深まち協 HP アドレス : <http://ibukamachi.com>

・ 生き生き伊深人 (大洞 遠山くぎさん) ……	1
・ 地域のトピックス ……………	2
・ 参加者募集 ……………	3
・ 協議会の動き / 名所・旧跡 ……………	4



巻頭インタビュー▶

生き生き 伊深人

地域内で生き生きと活躍されている伊深人にお話をお聞きしました

第 1 3 回

遠山 くぎさん

大洞
昭和 24 年生まれ
65 歳



Q 一口に障害者といってもさまざまな方がおられますよね？
A そうです。そうした障害の内容に合わせてできる仕事を探すため、いろんなところへ頼みに行ったりもしましたね。そんななか、目の見えない方が牛乳パックのイスを作られる様子を見て親が喜ばれたこと、その集中力の高さに驚かされ、気づかされたことがありました。

Q お生まれはどちらでしたか？
A 金山町 (現下呂市) 菅田 (すがた) の笹洞というところで、伊深と同じような田舎でしたが、小学校は 2 クラスありました。学校を出てから結婚するまでは川島町 (現各務原市) で働き、23 歳で結婚後 30 台後半までは家庭にいました。

Q その後再就職された？
A 伊深のある方から「身障者のいきがい対策」として市の福祉事務所が行っていた「ひまわりの家」の仕事を勧められ、始めることにしたんです。10 人近くの身障者を慣れない大きな車で送迎し、編み物、手芸、パンフラワー (※粘土製の造花) などを作ってもらい、産業祭やいろんなイベントで販売しました。できた物にユニークなネーミングをつけたりしてけっこう楽しく、よく売れましたね。

Q それからは？
A 平成 6 年に総合福祉会館ができると同時に「ひまわりの家」がその中に入り、運営主体も市から社協に移った関係で身分もそちらへ移りました。お世話する範囲は身障者だけでなく、知的障害者も含まれることになってやり方が変わり、人数も増えました。牛乳パックで手すき和紙を作って名刺に使ったりしました。

Q 辞められてからは？
A ひまわりの家には定年までお世話になり、その後「ささえ愛リング」に登録してボランティア活動に関わったり、大洞のサロンのお世話をさせてもらっています。サロンの方は前から地域で何かやりたいと思って始め、やがて 3 年がたちます。初めはどうなるかと思いましたが若い人で手伝ってくれる方も現れるなどスタッフも増えて今のところ順調に運営できています。地道でも「話すだけで楽しい」と言ってもらえるのであまり気負わず続けていきたいですね。

Q こうしてお聞きすると本当に「お世話好き」と思えますね
A まだまだ知らないことばかりで教えてもらうことが多いですよ。どなたかのことばですが「健康第一。次に努力」に心がけてやっています。



◀「花づくりが一番癒される」という遠山さんの自宅の周りは 1 年中花がいっぱい。

1月17日（土）、初詣で・伊深の七神社めぐりが行われました

伊深町生涯学習講座として伊深の七神社をめぐるウォーキングが行われました。参加したのは町内外の16人で参加者からはそれぞれの神社にまつわる体験談やエピソードが披露され、伊深の神社に対する認識を共有する機会となったようです。今回はあいにく時間の都合で五神社だけのお詣りとなりましたが、残りの神社については改めてお詣りする機会が計画されるようです。



1月17日（土）、ほくぶ保育園では「親子自然遊び」が行われました

昨年10月から始まったほくぶ保育園の「自然遊び」は今月は親子で体験するプログラムが生まれ、別所の洞へ到着するなり、さっそく山へ探検に出かけ、急な山登りに挑戦する親子の姿が見られました。頂上からは保育園も望めたそうで貴重な体験ができたようです。このあと、お弁当となりましたが大鍋で煮た豚汁に「おいしい。おいしい」と何杯もお替りする姿も見られました。午後からは地元の方のご厚意で椎茸狩りも体験でき、親子で里山の自然を楽しんでいました。



大洞で「猪鹿無縁柵（いのしかむえんさく）」の設置が進んでいます

猪、猿などの獣害が広がり、最近では鹿の目撃例も報告されるようになってきたなか、大洞では「猪鹿無縁柵（いのしかむえんさく）」の設置が進んでいます。これは市の対策として「現物は支給、設置作業は自治会で」行っているもので、今年度はまず2km分を設置することになりました。大洞自治会ではほぼ全員が参加してまず田んぼの土手に設置しましたが、今後は森林組合とも連携し、山裾にも設置する予定で進んでいます。この柵では猿の被害は防げませんが、猪の被害軽減の効果が期待されます。



◆ 参加者募集!! ◆

2・3月に以下の地域活動が行われます。伊深の住民ならどなたでも参加できますのでお気軽に参加してみませんか? ※参加していただける方は連絡所へご一報ください。

映画「じんじん」上映会

●俳優 大地康雄 が「絵本の力」と「親子の絆」を描いた映画『じんじん』。この上映会を当協議会でも応援しています。あたたかな感動とやさしい気持ちが「じんじん」と広がります。

- 主催：みのかも「映画じんじん」上映実行委員会
- とき：**2月28日(土)** 開場 9:30 上映 10:00
- 場所：美濃加茂市文化会館
- 料金：前売 1000円 (一般・シニア) 当日 1500円
(伊深連絡所に券があります)



オヤニラミ捕獲大作戦

●地域の川に悪影響を及ぼす国内外来種である「オヤニラミ」は度重なる駆除によっても生息数がほとんど減少していません。今後の拡大を防止し、駆除の実効をあげるため、市、岐阜大学、関係団体、地域が連携して捕獲大作戦を実施します。一人でも多くの参加でふるさとの貴重な自然を守りましょう。

- とき：**3月15日(日)** 10:00~12:00
13:00~15:00 (自由参加)
- 集合場所：中切公民館
- 参加者：伊深在住ならどなたでも
- 服装：ひざまで川に入れる服装 (あれば胴長)
- 持ち物：あればタモ網



【予告】

第2回 標柱めぐりウォーキング

●昨年6月に続き、第2回として北回りコースを実施します。今回は上切・大洞の早春の息吹を感じながら、旧跡や旧道、里山を巡ります。運がよければ「カタクリの花」も見られるかもしれません。少し長めのウォーキングになりますが、気持ちのよい季節ですので多数ご参加ください。 ※6月に第3回(正眼寺を含む南コース)を実施予定。

- とき：**3月21日(土)** 9:00~12:00 予定
- 集合場所：伊深交流センター前 8:45までに
- コース：諏訪神社、龍安寺・ト雲寺、中切弘法堂、大洞岩観音、井上太十郎頌徳碑など
- 参加者：どなたでも
- 参加費：無料 ただし地区外の方は保険料¥100
- 服装：歩きやすい靴および服装
- 持ち物：飲み物、タオル



■ 協議会の動き

1月定例会のあらまし

1月の定例会では下記のことを協議・検討しました。

■ **報告：** 主なことは次のとおり。

自治会長会 市成人式のようなすについて。

交通安全 みのかもハーフマラソンに対応したこと。

生涯学習 1.17に初もうで・伊深七神社めぐりを実施し、地区外の方の参加が多かったこと。

ほくぶ保育園保護者会 1.17に「親子自然遊び」があり盛り上がったこと。

環境美化グループ(れんげ会) ハボタン・パンジーが咲いていること。2月から手入れを再開する予定。

■ **協議事項：**

○ 先進地への視察研修について

≫2.22に「瑞浪市日吉町まちづくり推進協議会」を訪問研修することとした。

○ 標柱めぐりウォーキングについて

≫3.21に第2回として北コース(大洞・上切地区)を実施することを了承。

○ 小学校区見直しについて

≫2月上旬に会合を持つことを了承。

○ オヤニラミ捕獲作戦の実施について

≫2.22に市環境課ほかで準備(捕獲・マーキング)。3.15に地域ぐるみの捕獲作戦(捕獲・駆除)を実施することを了承。

○ 液晶プロジェクター購入について

≫市交付金活用により購入することを了承。

○ 映画「じんじん」チケット購入について

≫委員分のチケットを配布。

○ 「標柱めぐり用マップ」の作成について

≫市交付金活用により作成する方向で進め原案については改めて提案あり。

伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第7回 竜宮の淵

川浦川の野地原橋から下流300mほどに、西に直角以上に折れ曲がる場所があり、ここは昔から「竜宮の淵」と呼ばれ、子どもが近づくことを禁止されてきた場所でもあります。この淵には人寄りのときに使う膳や椀を乙姫様から貸してもらえると、いわゆる『椀貸し伝説』があります。この伝説は日本の各地に似たような話が伝わっているようですが、最後に何らかの理由で貸してもらえなくなるというところが共通しており、この淵の場合、乙姫様の姿を一目見ようとした若い男が、膳と椀を返したあと、立ち去らずに乙姫様の姿をのぞき見たからという伝説になっています。『いぶかの民話』で『体がすうーと吸い込まれていってまうようで、おそがかった。』とされる場所から子どもを遠ざけようとした大人たちの気持ちがこの伝説に結びついたという見方が成り立つかもしれません。(※標柱は上流の野地原橋付近にあります)



▲上空からみた「竜宮の淵」(昭和50年撮影の航空写真から)

【標柱】あり



【淵の位置】

